

東京・春・音楽祭 2019
SPRING FESTIVAL IN TOKYO 2019

東京
春祭

TOKYO OPERA NOMORI

2005-2019 15th

The 15th Anniversary

Gala CONCERT

2005年の《エレクトラ》から、東京春祭ワグナー・シリーズの数々まで、
音楽祭の15年を彩ってきた名場面を集めて。
オペラを知り尽くしたマエストロが読響と最高のソリストたちとお届けする祝祭の一夜。



指揮: **フィリップ・オーギャン**

Conductor: Philippe Auguin

ソプラノ: **ミーガン・ミラー**

Soprano: Meagan Miller

メゾ・ソプラノ: **エリーザベト・クールマン**

Mezzo Soprano: Elisabeth Kulman

テノール: **ペーター・ザイフェルト**

Tenor: Peter Seiffert

バリトン: **ジョン・ルンドグレン**

Baritone: John Lundgren

バス: **アイン・アングアー**

Bass: Ain Anger

管弦楽: **読売日本交響楽団**

Orchestra: Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

4/12

18:30
[金]

東京文化会館 大ホール

April 12 [Fri.] 18:30 Tokyo Bunka Kaikan Main Hall

S ¥16,000 A ¥12,900 B ¥9,800 C ¥6,700 D ¥4,600 E ¥3,600 U-25 ¥2,100 (税込)

主催: 東京・春・音楽祭実行委員会 後援: 日本ワグナー協会 助成: 公益社団法人企業メセナ協議会 2021 芸術・文化による社会創造ファンド

photos: Elisabeth Kulman ©Julia Wesely
Peter Seiffert ©Hösi / John Lundgren ©Moklos Szabo

一般発売日

12月16日 [日] 10:00

※U-25は2月8日 [金] 12:00より発売
【公式サイトのみで取扱い】

The 15th Anniversary Gala CONCERT

- ♥ ミーガン・ミラー Meagan Miller
- ◆ エリーザベト・クールマン Elisabeth Kulman
- ♣ ペーター・ザイフェルト Peter Seiffert
- ♣ ジョン・ルンドグレン John Lundgren
- ★ アイン・アンガー Ain Anger

<p>チャイコフスキー：歌劇《エフゲニー・オネーギン》 [2008] Tchaikovsky: "Eugene Onegin" 第3幕 より ポロネーズ Polonaise (Act 3) 第3幕 より グレミンのアリア「恋は年齢を問わぬもの」 Gremm's Aria All men surrender to Love's power (Act 3) ★ 第2幕 より レンスキーのアリア「青春は遠く過ぎ去り」 Lenksy's Aria Where, o where have you gone? (Act 2) ♠</p>	<p>ワグナー：舞台神聖祝典劇《バルジファル》 [2010] Wagner: "Parsifal" 第3幕 より 「その通り！ ああ！ 哀しくもつらいこの身」 Ja, wehe, wehe! Weh! über mich! (Act 3) ♣</p>
<p>R.シュトラウス：歌劇《エレクトラ》 [2005] R. Strauss: "Elektra" 「ひとりだ！ なんと悲しいこと」 Allein! Weh, ganz allein ♥</p>	<p>ワグナー：舞台祝祭劇「ニーベルングの指環」 [2014-17] Wagner: "Der Ring des Nibelungen" 第1日《ワルキューレ》 Erster Tag "Die Walküre" 第2幕 より 「つまり、不死の神々は不要ということね」 So ist es denn aus mit den ewigen Göttern (Act 2) ◆</p>
<p>ハイドン：《天地創造》 [2009] Haydn: "Die Schöpfung" 第2部 第22曲「今や天はこの上なく輝き」 Nun scheint in vollem Glanze der Himmel (Part 2 No.22) ♣</p>	<p>ワグナー：歌劇《ローエングリン》 [2018] Wagner: "Lohengrin" 第3幕 より グラール語り「はるかなる国に」 Gralsrözung In fernem Land (Act 3) ♠</p>
<p>R.シュトラウス：歌劇《エレクトラ》 [2005] R. Strauss: "Elektra" 「私を置いて皆出ていってくださる」 Lässt mich allein mit ihr ◆</p>	<p>ワグナー：舞台祝祭劇「ニーベルングの指環」 [2014-17] Wagner: "Der Ring des Nibelungen" 第3日《神々の黄昏》 Dritter Tag "Die Götterdämmerung" 第1幕 より 「私の言うことをよく聞いてください！」 Höre mit Sinn, was ich dir sage! (Act 1) ◆</p>
<p>ヴェルディ：歌劇《オテロ》 [2006] Verdi: "Otello" 第2幕 より オテロとイアゴの二重唱「神にかけて誓う」 Duo Otello-Iago Si, pel ciel (Act 2) ♠ ♣</p>	<p>ワグナー：歌劇《さまよえるオランダ人》 [2019] Wagner: "Der fliegende Holländer" 第2幕 より ダーラントのアリア「我が子よ、いらっしやいをお言い」 Daland's Aria Mögst du, mein Kind (Act 2) ★</p>
<p>ワグナー：楽劇《ニュルンベルクのマイスタージンガー》 [2013] Wagner: "Die Meistersinger von Nürnberg" 第1幕への前奏曲 Prelude (Act 1)</p>	<p>ワグナー：舞台祝祭劇「ニーベルングの指環」 [2014-17] Wagner: "Der Ring des Nibelungen" 第1日《ワルキューレ》 Erster Tag "Die Walküre" 第1幕 より 「寝ているのですか？ 客人よ」～「ジークムント、ヴェルゼの子よ！」 Schläfst du, Gast? ~ Siegmund, den Walsung siehst du, Weib! (Act 1) ♥ ♠</p>
<p>ワグナー：歌劇《タンホイザー》 [2007, 2012] Wagner: "Tannhäuser" 第2幕 より 歌の殿堂のアリア「おごそかなこの広間よ」 Elisabeth's Aria Dich teure Halle, gruss' ich wieder (Act 2) ♥</p>	

※ []内の年号は音楽祭での上演年



フィリップ・オーギャン (指揮) **Philippe Auguin** (Conductor)
仏ノース生まれ。世界中の名門歌劇場やオーケストラに招かれ、華々しいキャリアを築いている。ウィーンとフィレンツェで指揮を学び、1989年までヘルベルト・フォン・カラヤンのアシスタント指揮者・音楽アシスタントを務め、その後サーク・ゲオルク・ショルティのアシスタント指揮者も務めた。これまでに、メトロポリタン歌劇場で《影のない女》、ウィーン国立歌劇場で《死の都》、ベルリン・ドイツ・オペラで《さまよえるオランダ人》、ミラノ・スカラ座で《ドン・ジョヴァンニ》、東京・新国立劇場で《タンホイザー》、ザルツブルク音楽祭で《フィデリオ》等を指揮。2002年フランス共和国の名誉領事に任命。05年ドイツ連邦共和国功労勲章十字章を受章。

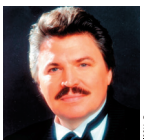


ミーガン・ミラー (ソプラノ) **Meagan Miller** (Soprano)
メトロポリタン歌劇場の「ナショナル・カウンスル・オーディション」でグランド・ファイナルを勝ち取る等、受賞歴多数。ジュリアード音楽院卒業。リビー・ラーセン、ロバート・ビーザーらの作品を初演。メトロポリタン歌劇場、ウィーン国立歌劇場、チューリヒ歌劇場、ハンブルク国立歌劇場、東京・新国立劇場等に出演。ウィーン在住。



エリーザベト・クールマン (メゾ・ソプラノ) **Elisabeth Kulman** (Mezzo Soprano)
ウィーン国立音楽大学でヘレナ・ラザルスカに師事。まずソプラノ、のちにメゾ・ソプラノやコントラルトとして成功を収める。ウィーン国立歌劇場を中心にオペラの主要な役を歌った後、フーランドとなり、世界中で活躍。近年は活動の場を歌曲リサイタル、コンサート、演奏会形式オペラ、独自企画のプロジェクトに集中させている。

ペーター・ザイフェルト (テノール) **Peter Seiffert** (Tenor)
デュッセルドルフの音楽大学で学ぶ。数多くの出演歴を誇り、レパートリーは、ドイツ・オペラ、イタリア・オペラのドラマティックな役を網羅している。バイエルン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ウィーン国立歌劇場等に定期的に出演し、ベルリン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座、バイロイト音楽祭でも活躍。



ジョン・ルンドグレン (バリトン) **John Lundgren** (Baritone)
スウェーデン生まれ。コペンハーゲンのオペラ・アカデミーで学ぶ。コペンハーゲンの王立劇場の《ラ・ボエム》ショナール役でデビューし、その後も同地を中心に活動。2008年デンマーク王立劇場の《さまよえるオランダ人》オランダ人役で成功を収める。16年には《ワルキューレ》ヴォータンでバイロイト音楽祭にもデビューした。



アイン・アンガー (バス) **Ain Anger** (Bass)
エストニア・タリンの音楽アカデミーで学ぶ。2009年クリスティアン・ティーレマン指揮の《ラインの黄金》《ジークフリート》ファーフナーでバイロイト音楽祭にデビュー。ケント・ナガン、フランツ・ヴェルザー＝メスト、セバスティアン・ヴァイグレらの指揮のもと、ウィーン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、フランクフルト歌劇場他に出演。



読売日本交響楽団 (管弦楽) **Yomiuri Nippon Symphony Orchestra** (Orchestra)
読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビの3社を母体として1962年に設立。若杉弘、フリーベック・デブルゴス、レークナー、尾高忠明、G.アルブレヒト、スクロヴァチエフスキ、カンブルランら国内外の巨匠が常任指揮者を歴任。2019年4月にはセバスティアン・ヴァイグレが第10代常任指揮者に就任する。文化庁芸術祭賞、サントリー音楽賞など受賞歴多数。演奏会の様子は日本テレビで放送され、「日テレオンデマンド」でも動画配信されている。

東京・春・音楽祭 2019
SPRING FESTIVAL IN TOKYO 2019
3.15 Fri. - 4.14 Sun.

東京の春の訪れを、音楽を媒介としたお祭りです。明治以来、日本における文化・芸術の集積地として発展を続けてきた上野公園を舞台に、桜の美しい時期に1カ月にわたり開催する音楽祭です。15回目の春を迎える2019年は、リッカルド・ムーティによる「イタリア・オペラ・アカデミー in 東京」と、バイロイト音楽祭との提携で上演する「子どものためのワグナー」の2つの企画を開始する他、東京文化会館での「ワグナー・シリーズ」や「合唱の芸術シリーズ」をはじめとした国内外の一流アーティストによる公演、上野の森に点在する美術館・博物館での「ミュージアム・コンサート」、無料の小さなコンサート「桜の街の音楽会」等、過去最大規模の約200公演を開催いたします。桜が咲きほころぶ春のひとときに、上野のあらゆる場所から、色とりどりの音楽が聴こえてくる——そんな「東京・春・音楽祭 2019」が東京・上野の春を美しく彩ります。

東京・春・音楽祭2019は「beyond2020プログラム」として認証されています。

チケットのお申込み 一般発売日 2018年12月16日 [日] 10:00

東京・春・音楽祭チケットサービス

<http://www.tokyo-harusai.com/>

- 公式サイト 限定の嬉しいサービス!
- チケットレスでご入場 チケットレスQ
- あれもこれも一度に予約 お買い物カゴ
- 3人そろってお得! トリオ・チケット
- 25歳以下の方限定 2月8日 [金] 12:00発売

(座席選択可・登録無料)
公式サイト内オンライン・チケットサービスにて、左記サービスをご利用いただけます。サービスの対象となる公演や座席・枚数は限定されています。詳細は公式サイト「チケット」ページにてご確認ください。

- [その他プレイガイド]
- チケットぴあ <http://w.pia.jp/t/harusai/>
0570-02-9999 (音声自動応答) ☎597-880
 - e+ (イープラス) <http://eplus.jp/harusai/>
 - ローソンチケット <https://l-tike.com/harusai/> ☎38620
0570-000-407 (オペレーター)
 - 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 (オペレーター)

オペレーター対応
[営業時間 10:00-18:00 土日祝: 休]
一般発売日12/16 [日] は上記時間にて営業いたします。

※車椅子座席、団体でのご鑑賞等、詳しくは東京・春・音楽祭実行委員会 (03-5205-6497) までお問合せください。※未就学児のご入場は二歳未満の年齢に限りお断りしております。※掲載の曲目は、当日の演奏順と異なる可能性がございます。※チケット代金お支払い後におけるお客様の都合による変更・キャンセルは承りません。※掲載の情報は2018年11月18日現在のものです。やむを得ぬ事情により、内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更による拡張はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

公演に関するお問合せ
東京・春・音楽祭実行委員会
03-5205-6497

